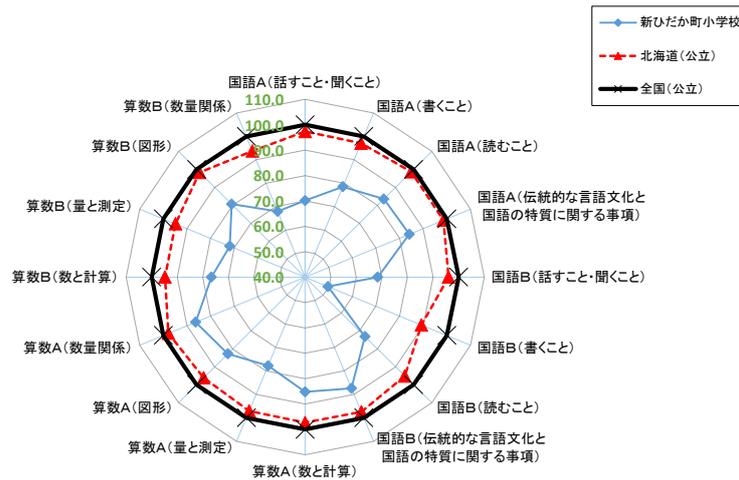


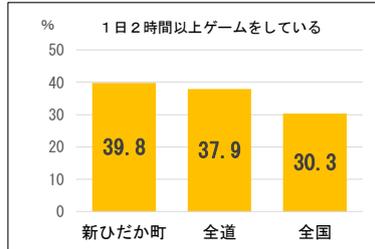
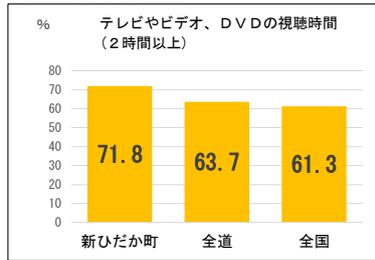
**■ 新ひだか町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:6校、児童数:181名)**

**【教科全体の状況】**

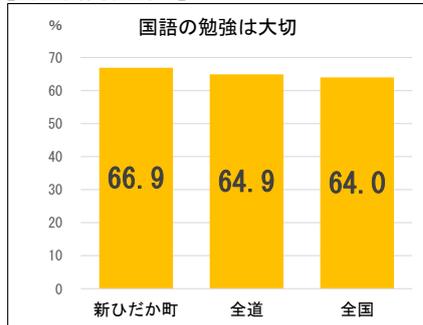
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの  
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



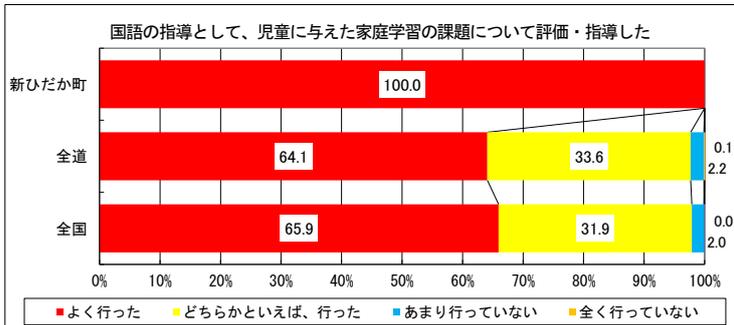
**【児童質問紙調査】**



**【児童質問紙調査】**



**【学校質問紙調査】**



**【分析】**

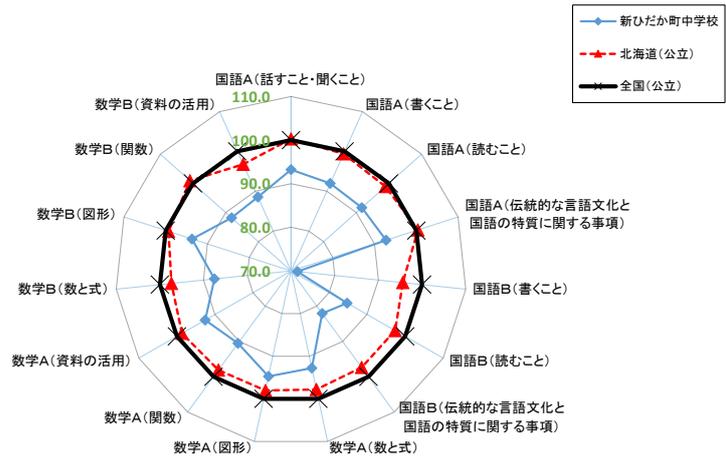
教科	○ 国語「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」や算数「数と計算」「数量関係」などのA問題、知識に関することでは、正答率は高くなってきているものの、総合的にB問題、活用に関することについては、引き続き全道・全国との差が大きい状況となっている。	○ 各学校においては、国語、算数の指導として、児童に与えた家庭学習の課題を評価・指導したことにより、授業の大切さを考える児童が多くなってきている反面、「1日のテレビの視聴時間」が2時間以上の児童が全体の71%以上、また、「1日のゲームをする時間」が2時間以上の児童は39%以上となり、全道・全国を上回る状態が続いている。
児童質問紙	○ 「国語の勉強が大切」と回答した児童の割合が全道・全国を上回っている反面、1日のテレビの視聴時間と1日のゲームをする時間において2時間以上である児童の割合が、全道・全国を大幅に上回る状況となっている。	
学校質問紙	○ 全ての学校において、児童に与えた国語、算数の家庭学習の課題の評価・指導を行っているが、これに対する教職員における共通理解の割合は、全道・全国に比べて低い状況にある。	○ 調査結果から、家庭学習の習慣化や望ましい生活習慣の確立が求められる。

**【新ひだか町の学力向上策】**

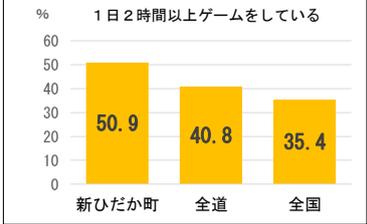
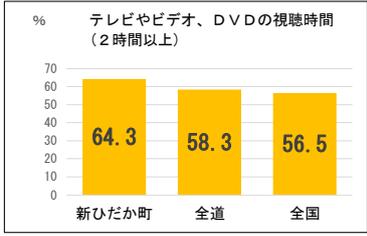
各学校の改善プランに基づいた主な取組を保護者などに情報提供するとともに連携を深める。 「主な取組状況」
<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 学習規律の取組(授業開始前の机に教科書などの準備、開始前に着席など)</li> <li>◎ 1時間の授業の課題やねらいを明確にすること 「1時間の学習内容」～明確な課題提示(授業で何を学ぶか提示) テンポのよい指導、ポイントのまとめ(基礎・基本の定着) 教科指導(基礎・基本の定着のため、応用などで内容を深める) 定着のための問題(繰り返し学習で分かる授業の確立)</li> <li>◎ ノート指導の確立と家庭学習に結び付く取組</li> <li>◎ 放課後や夏休みなどを利用した補充的な学習サポートの実施(教師の主体性)</li> <li>◎ 新ひだか町特別支援教育支援員の配置</li> <li>◎ 標準学力テストの実施 平成27年度4月から、小学校第2学年から中学校第3学年まで実施 小中の連携を図り、きめ細かな指導などに活用</li> </ul>

■ 新ひだか町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:4校、生徒数:207名)

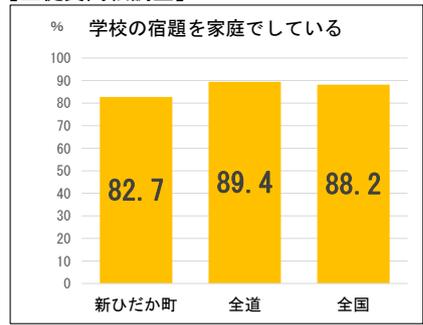
【教科全体の状況】  
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものの(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



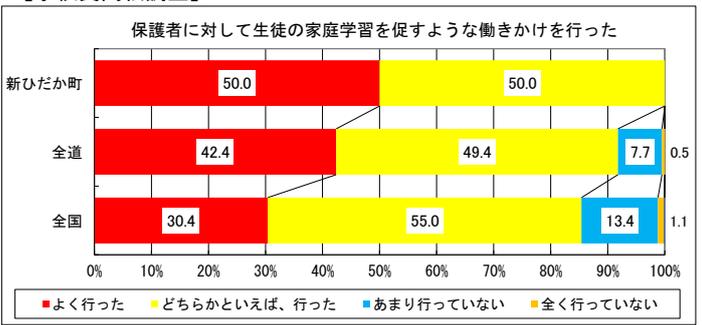
【生徒質問紙調査】



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 数学A問題、知識に関する「図形」では、全道・全国との差が最も少なくなっているが、国語B問題、活用に関する「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」などの正答率が低い状況となっている。	○ 各学校においては、保護者に対して生徒の家庭学習を促す働きかけを行ったことにより、家庭で授業の復習をする生徒は増えている反面、「1日のテレビの視聴時間」が2時間以上の生徒が全体の64%以上、また、「1日のゲームをする時間」が2時間以上の生徒は50%以上を占めるなど、依然として高い割合を示している。
生徒質問紙	○ 「学校の宿題を家庭でしている」では、全体の8割以上の生徒が行っていると回答しており、全道・全国と比べてもそれほど低い状況ではないが、「1日のテレビの視聴時間」と「1日のゲームをする時間」においては、2時間以上の生徒の割合が全道・全国を大幅に上回る状況となっている。	
学校質問紙	○ 国語の家庭学習の課題について、評価・指導した割合が全道・全国を上回っているものの、数学における同様の質問では、大幅に下回る状況となっている。	○ 調査結果から、家庭学習の習慣化や望ましい生活習慣の確立が求められる。

【新ひだか町の学力向上策】

各学校の改善プランに基づいた主な取組を保護者などに情報提供するとともに連携を深める。 「主な取組状況」
◎ 学習規律の取組(授業開始前の机に教科書などの準備、開始前に着席など)
◎ 1時間の授業の課題やねらいを明確にすること 「1時間の学習内容」～明確な課題提示(授業で何を学ぶか提示) テンポのよい指導、ポイントのまとめ(基礎・基本の定着) 教科指導(基礎・基本の定着のため、応用などで内容を深める) 定着のための問題(繰り返し学習で分かる授業の確立)
◎ ノート指導の確立と家庭学習に結び付く取組
◎ 放課後や夏休みなどを利用した補充的な学習サポートの実施(教師の主体性)
◎ 新ひだか町特別支援教育支援員の配置
◎ 標準学力テストの実施 平成27年度4月から、小学校第2学年から中学校第3学年まで実施 小中の連携を図り、きめ細かな指導などに活用